

# 福山大学薬学部・福山市薬剤師会 シリーズ研修会

講師：長崎 信浩 先生（福山大学 薬学部 実践医療薬学研究室 教授）

## テーマ：「薬学的管理・健康管理に臨床検査値を活用するために」（全3回）

我が国は他に類を見ないほどの速度で人口の減少と超高齢化が進行し、潜在的リスクを抱えた人々は増加しています。そのような人々が疾患に罹患し、薬物治療が必要となったときにはその潜在的リスクへの十分な配慮が不可欠です。安全で有効な薬物治療の提供は薬剤師の使命であり得意とするところでもあります。この度の薬剤師研修会シリーズでは今一度基本に立ち戻り、潜在的リスクを抱えた患者として「肝・腎機能低下患者」、「高齢者」に対する薬物投与の注意点、さらに「栄養障害のある患者への栄養補給」について保険薬局薬剤師が出来ること、しなければならないことについて学んでみようと思います。

### 第1回 5月22日（火） 「肝・腎機能低下患者への薬物療法を考える」

薬物投与後の体内の薬の流れ（ADME）を理解し、薬物排泄器官としての肝臓、腎臓の役割とその機能の評価について理解を深めます。肝機能・腎機能が低下している患者への適切な薬剤の選択および簡単な薬物動態式を使った薬物投与設計についても考えます。

### 第2回 6月5日（火） 「高齢者への薬物投与とその留意点」

超高齢化社会を迎えた我が国では、高齢なるが故に一人の患者さんが複数の疾患をかかえ、その結果、時には重複、時には相互作用の懸念を持ちながら多くの薬剤を服用しているケースがしばしば見られます（ポリファーマシー）。高齢者の抱える問題点を理解し、ポリファーマシーの解消に向けて保険薬局薬剤師がどのように取り組むべきなのかを考えてみます。

### 第3回 6月19日（火） 「栄養障害患者の栄養評価と栄養補給」

飽食の我が国において栄養不良など思いもよらぬことかと思われそうですが、栄養障害もしくは栄養不良の患者さんは潜在しています。病院では栄養状態の改善を図ることにより感染症の予防や様々な疾患の治療効果を高めることが知られ、NST活動が高く評価されています。栄養障害の評価および適切な栄養補給のあり方について今一度原点に立ち返って勉強し、地域の保健医療活動に積極的に参画して行きたいと思えます。

会場：福山大学宮地茂記念館402研修室 時間：19時30分～21時00分

連絡先：（一社）福山市薬剤師会 TEL: 084-926-0588 FAX: 084-924-7839 E-mail: fpa@fukuyamashiyaku.org

福山大学薬学部 TEL: 084-936-2111 FAX: 084-936-2024 E-mail: tamura@fupharm.fukuyama-u.ac.jp